

所弓便

第17号

NPO 法人所沢市弓道連盟

会員 260名

∞ 各部報告 ∞

【総務部】

所弓連会員数

平成28年3月末日現在会員数は260名です。

新会員

27年11月以降入会された会員の皆さんです。

田中 陸 村野百合 中村千賀 藤村純子
 荒木聖子 荒木大亮 沼尻 緑 小室 勇
 小笠原真希 伊藤 彰 勝又健太 河野 翔平
 稲葉秀幸 太田菜摘

昇格・昇段

平成27年11月1日以降28年5月8日までの昇格・昇段者の皆さんです。

教士 平山夏子
 錬士 藤原敬一
 四段 青山久美子 関口研二
 三段 杉崎竜也 日野義弘 沖田純子 杣山博文
 中西誠一 坂川隆人
 二段 半田惣一郎 石毛克恵 今井千鶴 奈須祥生
 山下恵美 田中恵美子
 初段 田中恵美子 内山智美 前澤朋子 清水公子

湯浅紀美子 筒井さくら 田中 陸 村野百合
 中村千賀 荒木大亮 小笠原真希

平成27年度所沢市体育協会賞

次の方々の受賞がありました。おめでとうございます。表彰式は3月5日市民体育館サブアリーナにて行われました。

所沢市体育協会功労賞

篠原一郎

所沢市体育協会優秀選手賞

本橋民夫 粕谷吉一 永田欣一 藤原敬一
 関口研二

所沢市体育協会優秀団体賞

所弓連 関口研二・中根幸二・土井政明チーム

部長会・常任委員会・理事会・総会

1月9日

第3回部長会

・第3回常任委員会について

1月23日

第3回常任委員会 (参加28名)

・平成28年度活動計画(案)に関する件ほか

3月27日

第1回理事会

・常任委員会及び総会資料の検討

4月10日

第1回常任委員会 (参加13名)

・総会資料の検討

4月16日

第2回通常総会

出席159名(内委任状95名))

(来賓)

所沢市弓道連盟顧問

所沢市長 藤本正人様

所沢市議会議員

桑島健也様

所沢市弓道連盟顧問

所沢市議会議員 秋田 孝様

所沢市弓道連盟顧問

並木正芳様

来賓の皆様から新道場建設にかかる励ましと総会開催のご祝辞をいただきました。

(会長挨拶 (抄))

本日NPO法人となって第2回目の通常総会を迎えた。2年越しとなる新道場建築は未だ実現していない。

このことに関し物心両面で多大な協力を頂いた先生のご意向に沿えなくて大変残念に思っている。後ほど報告するが新道場建築については先生の意向に沿うべく努力いたしたい。

これから数年、自分が弓を引ければそれで良いのではなく、今のスポーツ少年団の小中学生、また、皆さんのお子さんお孫さんが10年後、20年後にも自分たちの道場で伝統ある所沢の弓道を守り発展させてくれることを切に願っている。

会員全員が自分たちの道場建築に向け、心を一つにして、努力して頂きたいと切望している。

(議事内容)

議長に選出された草賀相談役の進行のもと“平成28年度活動予算の件”など決議事項5議案はすべて賛成多数で可決されました。

新道場建設に関しては会長から、現在候補地があり道場建設の可能性について関係各部署等と慎重に交渉しているとの状況報告がありました。



(武道館大会議室での総会)

武道館弓道場保全

3月22日から25日にかけて平成5年以來の使用で傷んだ射場床の一部補修工事が行なわれました。

【指導部】

定期講習会

平成26年4月から平成27年3月末までの講習会受講者数

橋田教室 (草賀 淳先生 8月で終了)

受講者延 102名

水曜講習会 (見原重信先生)

(毎月第4水曜日)

受講者延 82名

土曜講習会 ((草賀 淳先生8月から開催)

(毎月第2土曜日)

受講者延 199名

寒稽古

1月5日～9日 (5日間)

武道館 延115名

初心者教室

所沢市生涯学習情報誌「翔びたつひろば」に28年度前期初心者弓道教室案内を掲載しました。

5月21日～6月25日 (全6回)

毎週土曜日 13:00～16:30

【競技部 (スポーツ少年団支援部含む)】

《所弓連主催射会》

納射会 (12月13日) (参加108名)

《団体戦》

1位 森下珠美 芝田龍稀 下田 徹
 2位 植村亮子 大田原僚哉 藤田 良
 3位 前島あき子 細沼 樹 石川淳子
 3位 松永修子 西澤智美 中村徳海

《個人戦》

1位 下田 徹 2位 鈴木慎一 3位 廣瀬雅孝
 4位 増田裕子 5位 三好啓子

歳末百射会 (12月27日)

参加総数43名 百射修了者31名

1位 下田 徹 93中 2位 山田大介 87中
 3位 藤田 良 74中 4位 藤原敬一 69中
 5位 粕谷吉一 68中 6位 澤田靖子 59中
 7位 廣瀬雅孝 54中 8位 関口二郎 52中
 9位 三由憲之 51中 10位 平山夏子 51中

初射会 (1月18日)

参加92名

《射会》

1位 下田 徹 2位 松寄恭子 3位 徳丸久美子
 4位 藤田 良 5位 中根幸二

《金的賞》

天位 小林康則 地位 瀬賀かほる

人位 徳丸久美子 田中恵美子 関口研二

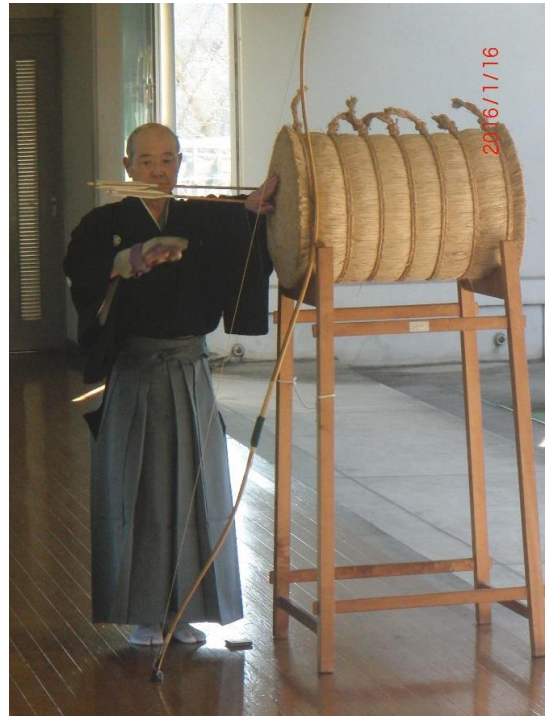
《扇的賞》

天位 三好啓子 地位 柚山博文

人位 中根幸二 土井恵美子 林義照

《特別賞》

細川和子



(初射会 草賀先生の巻藁射礼)

武道祭 (2月7日)

演武者17名、会長、放送係、連絡係(兼務)、
 手伝3名の合計22名参加
 (演武内容)

- ・スポ少初級者(稲葉 足立 長谷川 細沼 北條)による一手坐射。
- ・スポ少上級者(青山 沖園 稲垣 伊藤 豊田)による一手坐射。
- ・一般男女高段者(上橋 澤田 熊井 目黒 甲斐)による持的射礼。

演武終了後、無料体験教室が行われ、大勢の子供たちの参加がありました。

月例射会 (3月5日) (参加者47名)

《近的》

(2段以下)

1位 中西誠一 2位 渡辺涼介 3位 清水公子
 (3~5段)

1位 奥富季乃 2位 中村康代 3位 宮嶋重明
 (称号者)

1位 松寄恭子 2位 渡邊徳雄 3位 増田裕子

総会射会(4月16日)

今年度から総会終了後に総会射会を行うこととなりました。参加者42名

1位 増田裕子 2位 粕谷吉一 3位 中村康代
4位 熊井紀一 5位 藤田 良



(総会射会 渡邊副会長の矢渡)

《対外競技会》**全日本実業団弓道大会(11月7・8日) 明治神宮**

参加者10名入賞者なし

埼玉県武道弓道大会(11月22日) 県武

(所沢参加者2名)

中学生の部 個人 3位 青山千桂
一般男子の部個人 3位 藤田 良

西部支部納射会(12月6日)

(所沢参加者25名)

(3段以下) 3位 中根幸二
(4・5段) 1位 竹下眸 3位 藤原敬一
(称号者) 2位 粕谷吉一

埼玉弓連新年初射会(1月10日)(参加16名 県武)

称号者の部 3位 粕谷吉一

西部支部初射会(1月24日)(参加27名 武道館)

3位 関口二郎 5位 山口正彦 6位 熊井紀一
10位 本橋民夫

神奈川県・埼玉県弓道指導者親善射会(3月6日)

(参加6名 県武)

入賞者なし

全国勤労者弓道大会・埼玉県予選会(3月13日)

(参加6名 県武)

予選通過チームなし

西部支部総会射会(3月26日)(参加16名 武道館)

入賞者なし

秩父神社奉納 第58回埼玉県下武道(弓道)大会(4月29日)(参加一般40名 スポ少21名 秩父第一弓道場)

中学生の部

団体 4位 スポ少E

吉田空翔 細沼亮太 豊田琢真

個人 優勝 豊田琢真 3位 伊藤美優

一般の部

団体 優勝 所弓連D

中村徳海 小林孝則 下田 徹

個人 優勝 増田裕子 2位 下田 徹

【スポーツ少年団支援部】

(*スポーツ少年団支援部の各種射会記録は競技部にも掲載しています。)

埼玉県武道弓道大会(11月22日) 県武参加9名

中学生の部 個人 3位 青山千桂

所弓連納射会(12月13日 参加25名)**スポ少納射会(12月19日 参加26名)****道場大掃除(12月19日 参加26名)****所弓連初射会**

[入賞] 扇的 天位 齋藤 柊菜

所沢市スポ少交流大会

(マラソン大会所沢航空記念公園) 雨天中止

中学生練習試合 (3月5日 参加4名 明治神宮)

卒団祝射会 (3月19日 武道館)

4名卒団 (4名は高校にて弓道部活動希望)

中学生練習試合 (3月26日参加15名 明治神宮)

った先生方、弓友のおかげと深く感謝申し上げます。また、主婦が弓を引くには、家族の理解がなければ続きません。時々、機嫌悪くなる主人ですが感謝感謝です。これからの思うと緊張で身も引き締まりますが、歩みを止めることなく一步一步進む所存です。

今後とも皆様のご指導・ご鞭撻の程、宜しくお願ひ申し上げます。

参段昇段審査にて

杉崎竜也

平成27年11月8日、熊谷審査にて参段をいただきました。参段を受け始めたころは「もらえないからやめといた方がいいよ。」等と厳しい言葉もいただきましたが、諦めずに受けてよかったと思います。

参段を取ることは始めた当初からの目標で2年半かけてやっと目標に手が届きました。審査当日は雨が降っていてとても寒く体が冷え、巻き藁やゴム弓などの練習もできずに射場に向かうこととなりました。雨が降ったときは準備ができないことを仮定した練習をしていたのでその部分は問題ありませんでしたが、雨の影響で体が冷えてしまうのが大変でした。それまでの三回は良いイメージが浮かばなかったのですが、今回はいつも通り引くイメージができていて、射場に行くまでの覚悟は十分にできていたと思います。待っている間は上着を着て体を冷やさないようにしていましたが第3控え辺りからは着ていることができなかつたので、指先まで冷えてしまつて体も震えていたのを覚えています。

射では甲矢は、体が思うように動いてくれた的に入ったと認識したときに緊張が来て頭が真っ白になってしまい乙矢はどんな射が出たのか覚えていません。でも今回は自分の中でも一番いい射が出たと思います。射場を出てからは手の震えは収まらず、磔を外すのも大変でした。そして結果発表の時・・・杉崎竜也の文字の横に「合」の文字が見えて涙が溢れてしまいました。

∞ 投 稿 ∞

青天の霹靂

平山夏子

平成28年2月6日は忘れられない日になりました。

名古屋で行われた定期中央審査で教士の称号を授与されました。

審査を受ける訳ですから、受ければ嬉しい事ですが、今回も駄目だろうと思って臨んだ審査だったので、結果に一番驚いているのは自分自身です。心の準備も論文の準備も全く無くて審査前も後も冷や汗ものでした

練習でも束る事が無く、同じ様に引いているつもりなのに、どこに原因があるか解からず、何年経っても身・心・弓のバランスが取れない自分につながり半分諦めて、名古屋に向かつたと思います。

審査は噂では風で幕がはためくといわれる仮設の第3射場だし巻藁に行けば私の所で、時間切れ！やっぱり駄目だ！・・・と思い、何だか開き直った気がします。控えに入ってから、日頃注意されている所を1つでも確実にこなそうと気持ちを切り替えました。いつもは緊張で気持の切り替えなど思いもつきませんが、今回は射を見て頂きたい先生がお二人も審査員にいらつしたので一箭全霊、しっかり引こうと決め入場しました。結果は運よく、今回もお化けが出たと言う事です。

ここまで来れたのも諦めずにご指導をして下さ

ここまでの当日の感想です。ここからは自分なりに高校の部活との違いと感じたことを書こうと思います。ホントに？と思ってもなんとなく流して読んでもらえれば幸いです。

自分は高校入学から少し遅れてほぼ同時期に弓道部と所沢弓道連盟に入りました。両方に所属しながら二年間修練してきましたが途中でやはり高校の弓道と一般の弓道は違うものだ実感してきました。まず感じたのは真剣にやるかどうかと言う事です。

高校の弓道は部活動であって本気で弓道に向き合いたいという人は少なく、試合に勝てたらいいな、みんなと楽しめたらいいや。などと比較的緩い雰囲気でした。

一方弓連の方々は各々の目標に向けて取り組んでいる感じがしました。なんとといっても一番の違いは射形に出ました。当てて大会に勝てばいい高校弓道と審査や大会と多くの行事がある弓連では差が出るのは当たり前ですが…自分は弓連の良い射を知っていたので高校で正射必中と言う言葉を聞いたときは考え込んでしまいました(笑)弓連の良い射を知らなかったら今頃当てるだけの射をしていたのかなとは考えたくもありません。

高校弓道に不満を持っているわけではないのですが自分は弓道連盟に入ってちゃんとした弓を知れたことがまだ18年の短い人生の転機だったのかと思います。これからも自分の目標に向かってしっかりと修練を積み重ねていきたいと思います。これからも皆様に多大なご迷惑をかけるとは思いますがご指導のほどお願いいたします。以上くだらない作文を読んでいただいてありがとうございます。

三段審査に合格することができました

日野義弘

このたびの三段審査合格は、偏に草賀先生をはじめ各先生方の親身なる心温まる、ご指導の賜物と深く感謝申し上げる次第です。また大きな悩みのある時は、アドバイスと相談にのってくれた弓

道仲間の支えがあればこそ合格です。

三段審査での一番の悩みは、離れの際の不安心理から弓手を強く握りしめ、弦が半返ししかしないことでした。しかし「審査統一基準」に、「弓返りが望ましい」、「向う弦は総合評価」と書いてあることに望みを託しました。先生方から体配を確実にしない、射術の運用に気力があり、三重十文字、五重十文字が適正に行なえ、矢筋に力強い離れがあれば総合評価をしてくれるとアドバイスを頂きました。その時は、目の前に光明が射すような気分になり、救われる思いがしました。

その後は多くの先生からご指摘を頂いた、両肩に力が入り肩が下がっていない、両肩が詰まり大三、引分け動作が小さくなり過ぎている、高く大きく引分けられない等の問題点の改善でした。それは両肩が詰まることで、両腕が伸びず、肩を内転させられず、引分けても割り込めず、肩甲骨も自然に寄せることができないことでした。

これまでご指導を頂いた草賀先生から、教本や射場指導で教えることは、あくまで基本であり、指導を受ける本人が基本動作を理解し、自分の体形、骨格に合わせて改善していかなければ、上達しないとご指摘を頂きました。弓手や妻手の握り方の強さ・角度、肩の下げ方と腕の伸ばし方、腕と肘の高さと角度、肩甲骨の内転のしかた、肘の使い方と諸々の角度は一律ではないことを再度ご指導頂きました。各部位には必要以上の力を入れず、自然体で臨むことが一番であることも教えて頂きました。

これまでは、やたらと矢数を掛け、力任せに射を行なってきましたが、三段審査修練で、やたらに力まず、的に中てることのみが目的でなく、全身を使って打ち起こし、大三、引分け、離れ、残身まで一貫しての射を行い、真直ぐ矢が的に向かって飛ぶことが最善の体配となることを覚えめました。

気を静め冷静状態を維持しようと、審査前日に武道館に行き、十射の射をおこないました。中てるのではなく的に向かって冷静に対応できるかを確かめる為です。これまでは中てることが大きな

目的でしたが、審査日には的に矢が真直ぐ届くことだけを目指しました。不思議なもので欲のない無心の故か十射中、九射が的に入りました。

審査当日は、ご指導頂いた弓矢の持ち方・角度、足の運び方、曲る時の左踵への右足踵の当て方、体がぶれないことが審査時に重要であることを再確認し、射場に入ることができました。あとは修練時と同じ冷静な気持ちで、前日の射と同じく矢が的に向かって真直ぐ飛ぶことだけを考えました。過度な力を省き大三、引分け、離れ、残心迄おこなうことで、一射目、二射目とも自然に離れることができました。無心で放った射は、お陰様で二射の中し、三段位を頂くことができました。弓返りも不完全ながら肘近くまで回っていました。これ迄の審査での心理状態は、射に自信が持てず不安が伴っておりましたが、この度の審査では不安が無く、自信を持って臨むことができました。有り難うございました。

これからも弓道を愛し、一心不乱に修練していく所存ですので、今後ともご指導ご鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。

感謝 ～再びの前へ～

沖田純子

平成28年2月21日の地方審査におきまして、参段のお許しを頂きました。日頃より丁寧にご指導下さる先生方、温かく見守り励まして下さる先輩方、共に学び励まし合っている弓友のお陰で頂くことができ、心より感謝申し上げます。

昨年5月の連休最終日、実に27年ぶりに足を運んだ弓道場が神社道場でした。五月晴れに映える緑美しい矢道、磨かれた本座の床、一段上がった畳の控え、冴え渡る的中音。不慣れで緊張しつつも、とても惹き付けられる雰囲気を感じました。最後の2ヶ月弱でしたがこの道場に立たせて頂いたことを本当に有り難く感じております。

審査を受けると決めてからも、先生方から懇切丁寧にご指導頂くもなかなか向上せず、今回は雰囲気味わってくるだけかなぁ、と弱気になって

おりました。ところが何故か不思議と10日ほど前から急に中りはじめたのです。前日には諸先輩方から鼓舞激励のお言葉を頂き、大変嬉しく感じました。気にかけて下さる先生、先輩、弓友の存在を本当に心強く感じ、結果はどうあれ、とにかく明日は思い切って精一杯の射をご披露するしかない、とどこか心が定まりました。

当日は学科実技共にお昼前後の時間からでしたので、開会式後の矢渡しを拝見することにしました。早春の陽光降り注ぐ射場での厳かな儀式は、まるで美しい絵巻を紐解くような光景でありました。長い時を経て再び弓を執り、このような場に立てる嬉しさと高揚感、そして先輩方と控えてご一緒させて頂いたことでの安心感で、思っていたよりも緊張せずに精一杯の射を行うことができたように思います。本当に「お陰様で」という言葉が自然と湧き出る思いです。

まだまだ未熟で至らぬことばかりですが、少しでも向上できるよう努めて参りますので、今後共ご指導の程宜しくお願いいたします。

式段の審査を受けて

石毛克恵

平成27年11月8日の熊谷の審査で、式段を頂くことができました。諸先生、諸先輩方からたくさんのご指導や励ましを頂いた賜であると感謝いたしております。

初心者教室から通い、大好きだった熊野神社道場が閉鎖になり、またすぐに子供達の夏休みも始まったことから、なかなかすぐには慣れない武道館に通うことができませんでした。しかし9月に式段審査を受けることを決めてからは、射会や弦友会にも入れていただき、稽古の日々がまた戻ってきました。

審査当日は朝から冷たい雨でした。会場まで乗せて頂き、また会場についてからも不慣れな私をいろいろな面で気遣って下さった先輩方、本当に有り難かったです。初段審査での緊張感は大変なものでしたので、今回は落ち着いて望みたいと思

い、息合いにも気をつけ、入場しました。私は3番でしたが、大前の方が緊張のためか、前の落ちの弦音でもなかなか揖をせず、立ち上がってしまいました。揖をして射位に進むと、立てた弓は滑り、弓構えまではやはり緊張しましたが、前日の練習の最後に「いろいろ考えないで思い切って引いてきなさい。」という大先生の言葉を思い出し、落ち着いて引くことができました。学科も覚えるのに苦労しましたが、深夜、睡魔と戦っている時に、高校2年の長男が、試験内容を音読してくれたのがとても嬉しかったです。

弓道を始めて、一年余りになります。今では、弓道が生活の一部となり、目標を持って日々を過ごす事が本当に楽しく、家族も応援してくれるようになりました。そして年末、初めて百射会に参加をしました。ただ力に頼る射のためか60本を過ぎると、的前に立つこともつらく、会を保つことが困難になり、気力のみで完了しました。一方、日頃拝見するような骨法に沿った美しく力強い射が、いつまでも変わらぬ先生、先輩方を改めて尊敬いたしました。射法訓の「弓を射ずして骨を射ること最も肝要なり」の言葉の意味を感じることのできた時間でした。私も少しでも近づけるよう、これからも、基本となる姿勢、動作をしっかり身につけ、見る人の心に響くような射行ができるよう修練し、次の目標にむかって努力していきたいと思います。今後ともご指導よろしく御願いたします。

二段の審査

今井千鶴

平成28年2月、県立武道館の審査にて二段に合格することができました。

弓道を始めて一年が経ち“また審査の時期が来てしまったな、受けたくないな”と思いながら当日を迎えました。

自分の順番が来るまで廊下に並んでいた時には、緊張せずに待つことができ初段審査より落ち着いているなど思っていました。しかし、入場ラインに並んだとたん、ドクドク心臓が鳴り出し、入場

ラインのテープが目の前ではがされ、緊張がマックスになってしまい、そのまま審査が始まりました。

矢番えの際、前の方が苦労されていました、「前の方の動作を追い越したら駄目」と頭に過った瞬間、冷静を取り戻しました。

先生に日々指導していただいていたポイントの一つ一つ確認しながら「会」に持っていきました。しかし、「会」でハプニングが起きました。「そこでストップ」と審査員長から声がかかったのです。私は、一瞬頭が真っ白になりました。「どうしよう」とフリーズ状態になりました。的前に立ったとき、的がいつもより遠く、苦手な白い幕が強風で波うち、的が小さいなと感じてしまいました。矢が届くのかと不安から、いつもの悪い癖である「手練り」が出てしまったのです。もうどうしようもない、思い切って行くしかない大きく開きました。矢は的の左横に入りました。「きっと不合格だ。あと一矢なら乙矢は思い切って大きくのびのび行こう」と吹っ切れた気持ちがしました。乙矢は練習時のようにでき、不思議と気持ちよい射ができました。

奇跡的に合格することができました。今回感じたことは、日々の練習が追い込まれたときに自分に冷静さを取り戻してくれる。意識すべき事柄を一つ一つ確認し、稽古する大切さを痛感しました。

何度も繰り返し熱心にご指導いただいた先生方、ありがとうございました。微成長な私ですが、少しでも吸収できるように頑張ります。

失敗からのスタート

近藤 麻美

昨年五月、初めての審査を日高で受けました。この日はとても良いお天気でした。

ずっと憧れていた弓を始め、一年半が経過しての審査でした。本番では、表現するのが難しいくらい緊張しました。育児中で、週に一度の稽古が精一杯でしたが、細々と続けてきました。審査前には、もっと練習したい気持ちが一杯で、何日も長

時間の稽古をしてしまい、その結果少し無理をしていたようです。審査結果は一級でした。初段不合格となり、今まで見ていただいていた先生方に、申し訳ない気持ちで一杯になりました。しかし、「不合格と思わず一級からのスタートだと思って」と先輩が声を掛けてくださいました。これはとても嬉しかったです。また、今まで家を留守にするのが難しかったので、日高に審査を受けに行けただけでも、嬉しいことでした。大人になって受ける試験が不合格？だと、こんな気分になるんだということも初めて経験しました。新鮮でした！自分にプラスになった経験です。審査の夜、自宅に戻り自分の射を振り返り、どこが初段に至らなかったのか、ノートに自分なりに書き出してみました。書き終わると、ノート2ページになり、こんなに足りない点があったのかと客観的に見ることが出来、一級認定を前向きに受け入れられました。もうお稽古に行くのもいやになるかな？と思いましたが不思議とまた練習したいと思いました。その後、先輩方から「私も一級からでした。」と声を掛けていただき、励みになりました。

そして9月、再び秩父で再挑戦しました。この日もとてもいいお天気でした。今回は、稽古では長い時間引かず、毎回丁寧に引くことを心掛け、苦手の体配の練習を自分なりに何回も見直しました。その結果、初段に合格することが出来ました。審査は緊張しましたが前回とは異なり、偉そうですが良い緊張？でした。不器用な私にいつも丁寧に指導してくださる先生方、先輩方本当にありがとうございました。今後もコツコツと稽古を重ねていきたいと思っておりますので、これからもどうぞよろしくお願い致します。

弓道について

田中 恵美子

弓道は一生のうちに一度はやってみたいスポーツとして初心者教室にお世話になりました。始めは軽い気持ちでしたが回を重ねた日、先生のお教え通り一つ一つ丁寧に弓を引くと初めて中り

ました。正しく射法八節の過程を行い中ったことに驚き、まるで今までの自分の心を射抜かれたようでした。

弓道も生き方も同じように思います。毎日を大事に正しく生活して歳を重ねていき、弓の練習をしていこうとその日決めました。その後、すぐに自分の中で「初段」の目標を掲げ、公私とも誘われる飲み会を断り？11月8日の熊谷審査だけ考えた毎日でした。途中怪我のアクシデントもありましたが決して苦しい日々ではなく先生、諸先輩に良くしていただき同期の友人たちと切磋琢磨し充実した日々で練習をし、審査を迎えました。

当日は朝から冷たい雨でした。緊張で目眩を覚え倒れそうでした。自分の順番は瞬間に回って、そしてあっという間に終わりました。腑甲斐ない射をしてしまった事、体配の列にズレたとか etc. …思い起こすとこの文章を PC で打っていても涙が出てきます。その時は落ち込んで荷物をまとめて車の中で一人泣きました。あんなに頑張ったのにどうして？としか思えず、これまでご教授いただいた先生にただただ申し訳なく思いました。発表の時間になり現実を受止めて又一から出直しなのだと考え戻りますと、我が所沢連盟の諸先輩に色々お話をしていただきました。そのお陰で落ち着けた後、合格を確認しました。

未だ奇跡としか思えないのが自分でも情けないのですが、これが私の初審査でした。後日、機会があつて埼玉弓道連盟会長の本橋先生に「良かったですね。これからも頑張ってください。」と温かいお言葉を頂戴しました。頂いたお言葉がとっても嬉しい反面、これからも気も身も引き締めて、ただただ頑張りたい所存でございます。覚えが悪く先生を困らせている毎日ですが射の技術とともに精神面も強くし、集中力や忍耐力も身に着けるよう努力します。そして「式段」は自身で納得の合格を頂くことができますよう目標を新たに掲げたいと思います。

私は男性の力強い射も好きですが、憧れている体配の正確な先生と射型が美しく凄的中率の

先生がいらっしゃる。お二人とも女性で言葉が丁寧で優しく落ち着きがあり女性の弓は本当に美しいと思わせて頂けた大好きな方です。お会いできた時は必ず見取り稽古をさせていただき、目標としてお二方に少しでも近づきたいと思っております。そして兎に角中てたい！と、言う先生方に怒られそうですが、私の中りとはあくまでも正しく弓を引くという先生のお教えに基づいた目標です。まだまだ偉そうなことは言えませんが、射法八節を念頭に置いたうえで中りにこだわりたいと思っています。幾つかの大きな目標を持ち毎日を充実して過ごしております。

晴のホッとしたり日

内山智美

2月の審査で初段に合格できたこと、ご指導頂いた先生方にお礼申し上げます。

審査当日は寒さが厳しい2月でしたが、その日は天気もよく、少し暖かさもあり、手が悴む心配もなく、緊張はしていましたが、2度目ということで、前回よりも幾分自信を持って望めました。

前は急遽大前に変更になり、焦ってしまい、練習不足を実感しました。そのことから、1カ月前から週2回、射はもちろん、入退場の練習により力を入れて、家でもゴム弓や先生からの課題をこなし、日々の足の運び方に意識を持つように心がけていました。

先生と「前回は前大前だったから、今回は落ちたたりして…」と話をしていたら、実際落ちで、一ああやっばりなっただかと思いましたが、前もって心構えがあり、練習で注意されたことを意識して、堂々とやろうという気持ちでいたことが、合格の鍵だったのかもしれませんが。

今回は先生にかなり心配をかけていたので、合格の「合」の印があったのを見て嬉しいというより、ホッとしたりというのが一番でした。発表の後、先生に連絡を入れ、よかったと言われてやっとな嬉しさと実感できたと思います。

一応一段落したという気持ちですが、これからは

次のステップに進むため、新しい課題もこなしていき、自分のペースで少しずつ成長できたらと思っています。

∞ 会長月誌 (抄) ∞

平成27年11月2日

シティマラソン大会第2回総務委員会

・準備状況の確認等

11月6日

市財務部訪問

11月16日

所沢シティマラソン大会実行委員会

・大会概要

11月21日

埼玉連理事会

・28年度行事予定等

12月6日

所沢シティマラソン大会

・走路観察係（飯島さん、松寄恭子さん、澤田さん、安江さん、塩島さん、前島さん、深見さん、黒木宝子さん、松浦さん）

12月12日

埼玉連総務委員会

・埼玉連だよりについて他

所沢市民武道館利用団体調整会議（飯島事務局長、甲斐総務部長同席）

12月14日

青少年三道大会反省会（上橋競技部長同席）

12月24日

体育協会役員会

・陸上競技選手権大会・シティマラソン大会報告他

平成28年1月16日

埼玉連理事会（所弓連初射会のため欠席）

1月20日

内藤教育長面談

2月 7日

武道祭

2月 8日

シティマラソン実行委員会の総務部会

・第26回大会の反省・決算

2月16日

シティマラソン実行委員会

・第26回大会の反省・決算

2月19日

体育協会／競技団体部会・理事会

・平成27年度体育協会賞の選考

2月20日

埼玉連理事会

・平成27年度決算報告

・平成28年度事業計画・予算

2月28日

埼玉連西部支部理事会

・平成27年度決算報告

・平成28年度事業計画・予算

3月 5日

所沢市スポーツ大賞体育協会賞表彰式

3月 7日

新道場建築候補地関係者と面談

3月10日

支部評議員会

3月15日

新道場建築候補地の公函等の取得

3月22日

新道場建築関係で所沢市街づくり計画部長外と
面談 (同行弓道連盟顧問 秋田市議)

3月24日

新道場建築候補地の謄本の取得

∞ 編集後記 ∞

4月14日のM6.5に続き16日に日付が変わった未明に熊本県を震源とするM7.3の地震について、朝のテレビ報道が被災地を克明に映し出し、その残像が脳裏から消えないままに、午前10時所沢市弓道連盟第2回通常総会が開会されました。

来賓の方々の挨拶ではこの地震に触れ、災害の際には共助（地域の人達が共に助け合う）の必要性がいかに大切であるかをお話し頂き、併せて当弓道連盟の最大の課題である新道場建築にも会員の一致団結が必要との励ましのお言葉を頂きました。

現会長が就任した平成21年の所弓便創刊号に掲載された挨拶文の中に「会員の皆様も、（連盟のことに）協力して下さるものと、期待しています」と書かれています。会長からその後、今回の総会での挨拶を含め何回も何回も同様の趣旨のお話を事あるごとにお聞きしました。

ですが「何をしたいのか解らない」「連盟の仕事を誰からも頼まれていないから」などの話をよく聞くことがあります。

道場をいつまでも安心して楽しく使えるようにするために、単に弓を引くことだけでなく、それ以外の事も少し考えて頂きたいのです。

会員全員それぞれの目に見えないような小さな行動が「新道場建築」という大きな課題を実現するものと確信しています。

編集委員

飯島稔凱 甲斐久歳 小林康則

山口正彦 山口ひろ子

所沢市弓道連盟会報誌 所弓便 第17号

発行日 平成28年5月15日

発行者 NPO 法人所沢市弓道連盟

会長 新家 透